

2019年4月16日

本学 JINDAI メール管理システム (JMS) のコンピュータウイルス感染について

本学の教職員、学生、生徒及び卒業生が利用可能な JINDAI メールサービスの管理システム (JMS) が4月9日 (火) にコンピュータウイルス (ランサムウェア) に感染したことが判明しました。現在、被害にあったシステムを完全停止とし、本学のネットワークから切り離していますので被害の拡大はありません。

今回の被害により、メールの利用は可能ですが、パスワードの変更や連絡用メールアドレスの設定等が一時的に利用できなくなっております。

また、被害にあった管理システムサーバ内には、氏名、JINDAI メールアドレス及び初期パスワード等の個人情報が格納されていますが、現時点では、個人情報の流出は確認されておりません。

利用者及び関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、今後の再発防止に努め、個人情報を含む情報資産の適切な管理徹底に努めていく所存です。

なお、今後の JINDAI メール管理システム (JMS) の復旧の進捗については、随時神奈川大学 MNS Web でお知らせいたします。

本件に関する問合せおよび連絡先
神奈川大学情報システム推進部
admin-office365@kanagawa-u.ac.jp